

令和8年2月4日

道路・交通計画部交通政策課

砧モデル地区デマンド型交通の本格運行について

1 主旨

公共交通不便地域である砧モデル地区において、令和5年5月1日から3年間を目途に地域及び運行事業者との協働のもと、A Iとワゴン車両を活用したデマンド型交通による実証運行を開始し、利用状況や採算性などを確認しながら、取組みを進めている。

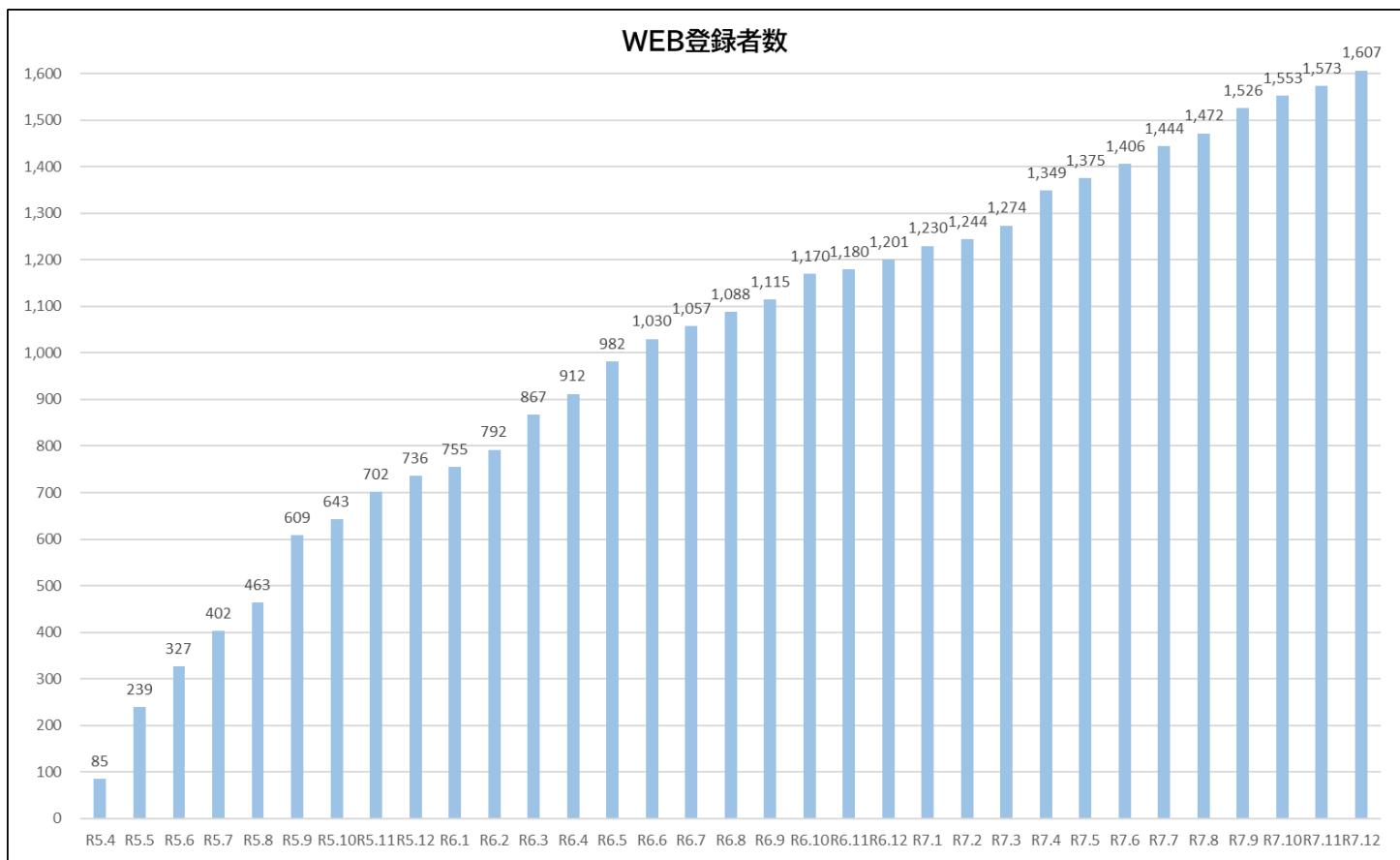
この間、実証運行期間中の利用状況や採算性、導入効果などを確認した結果、移動の手段にとどまらず、福祉・健康面や、地域の活性化など、多様な効果を得られたことから、令和8年4月1日から砧モデル地区デマンド型交通を本格運行へ移行し、安全・安心・快適に移動できる環境を整備する。

2 実施状況

(1) WEB登録者数

地元協議会、砧まちづくりセンター等と協働での広報活動に継続的に取り組んだ結果、WEB登録者は令和6年4月末時点で912名、令和7年4月には1,349名、同年12月には1,607名を超え、着実な増加傾向を示している。

WEB登録者数

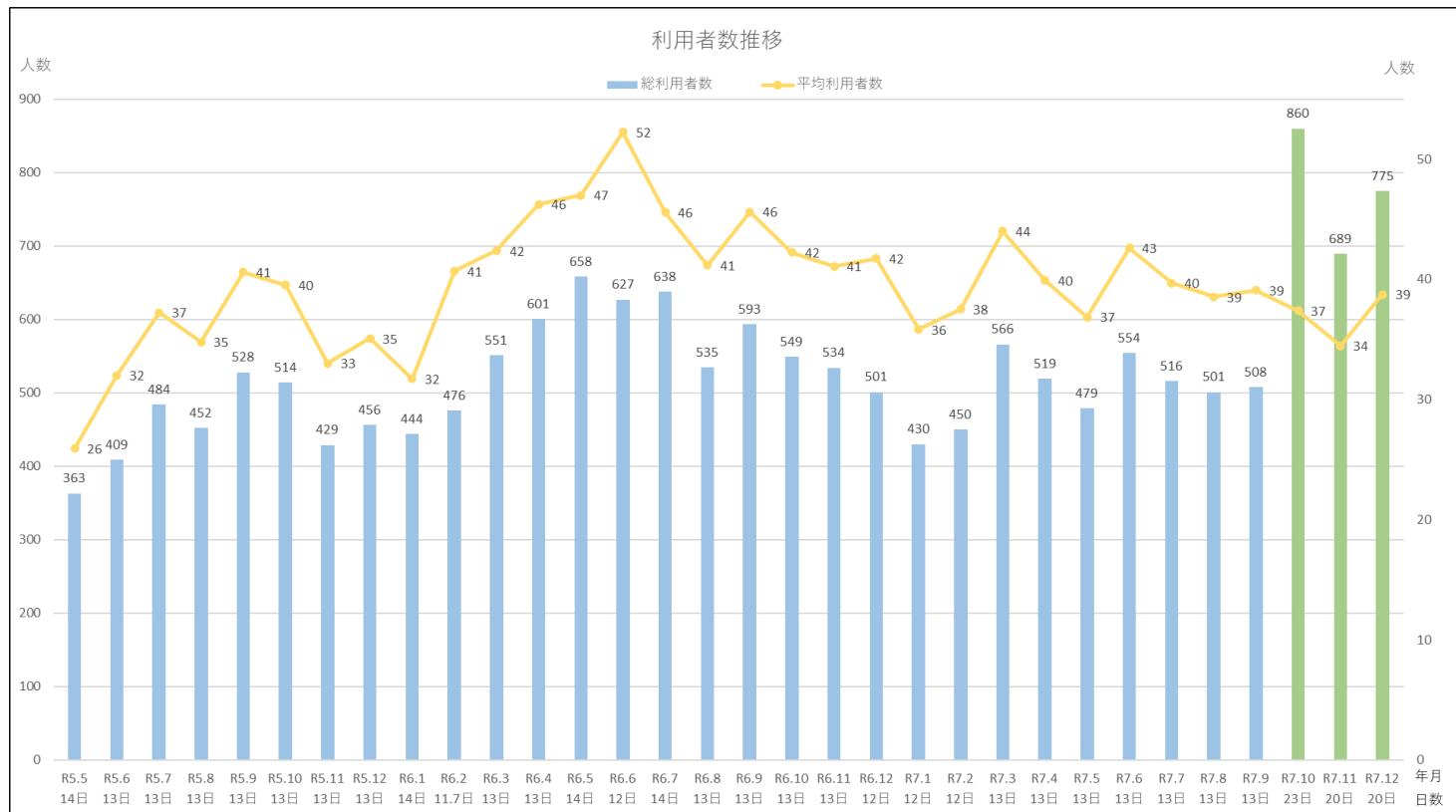


(2) 利用状況

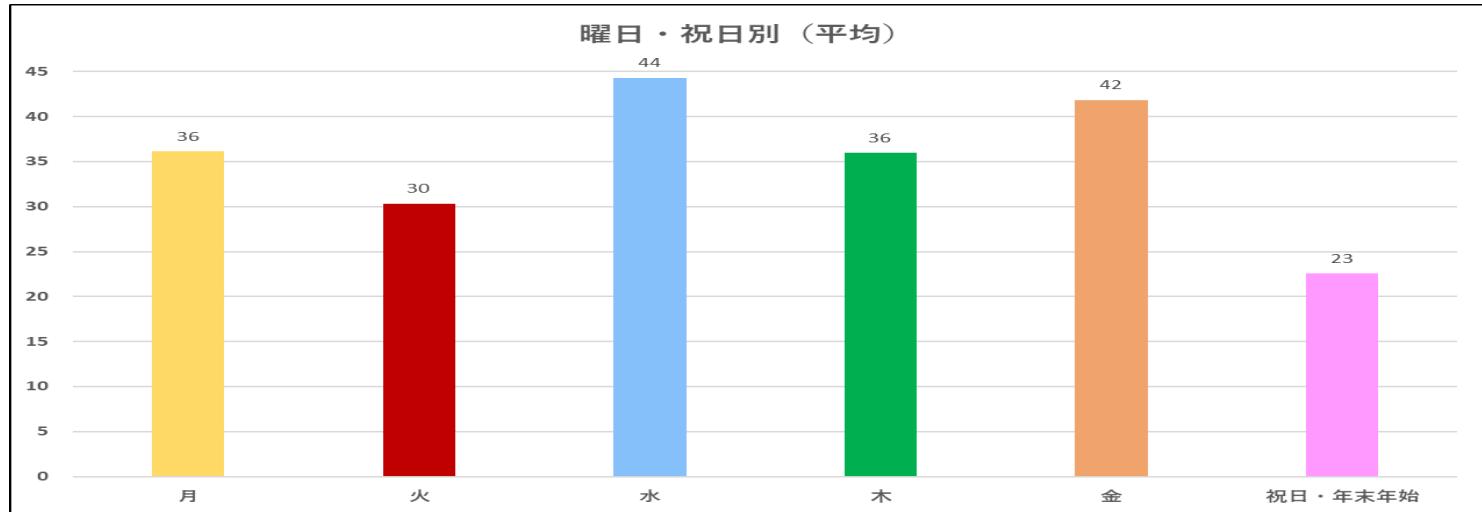
運行を開始した令和5年5月以降、月間利用者数は約400人から約650人、1日あたりの利用者は約40人前後で推移している。令和7年10月から週5日運行へと拡充し、1日あたりの利用者数は約37人、月間利用者数は689人から860人となっている。

曜日別では、水曜日が最も多く、次いで、金、月、木、火曜日の順となっており、祝日・年末年始（※年末年始の運行：1年目のみ）にも一定の利用が見られる。なお、火・木曜日については、令和7年10月から運行を開始したばかりであるため、今後も継続的な周知活動を通じて、利用者の定着や拡大を図っていく。

①月間・1日あたりの利用者数



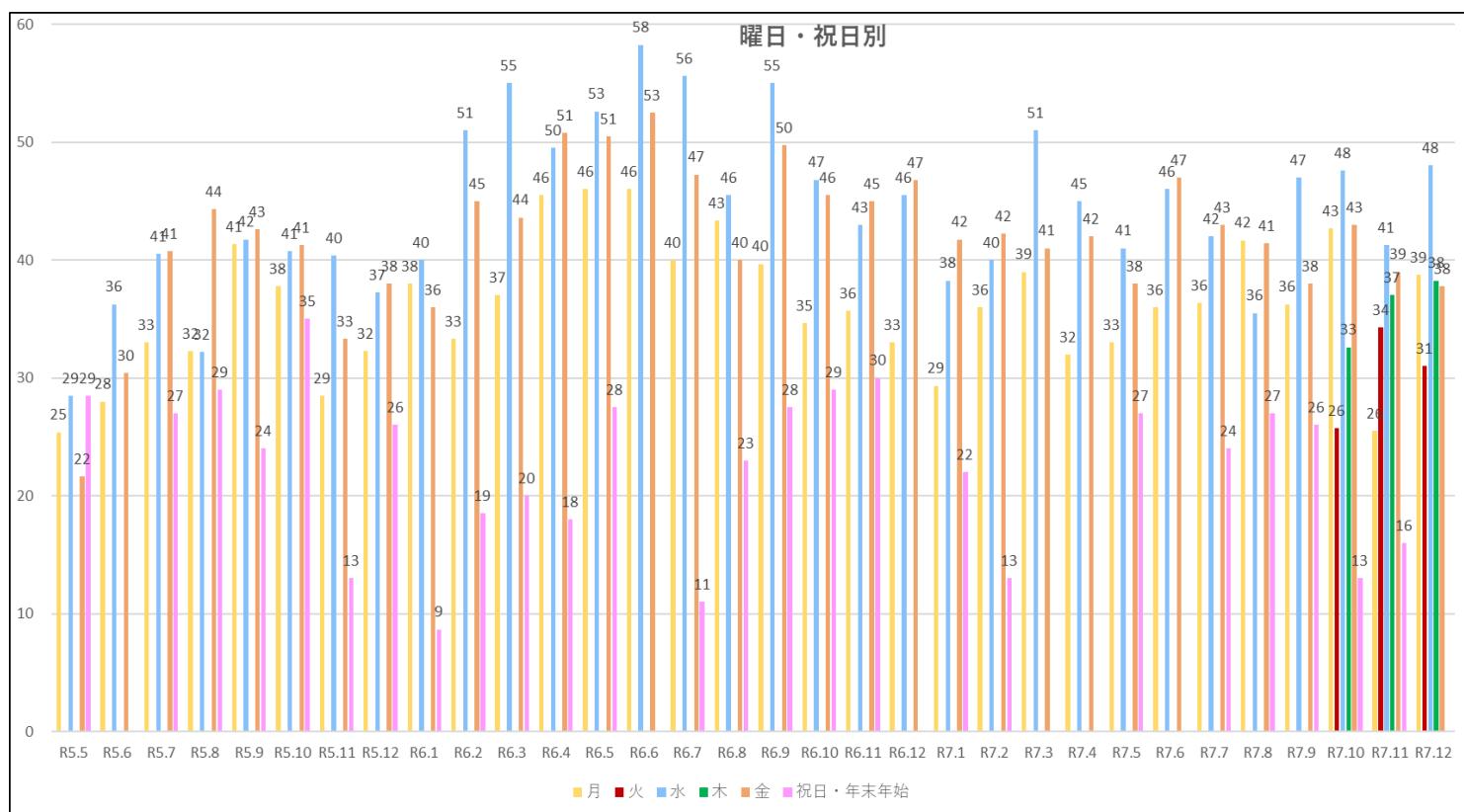
②曜日・祝日別



※1 月・水・金曜日、祝日・年末年始：令和5年5月～令和7年12月の実績

※年末年始の運行：1年目のみ

※2 火・木曜日：令和7年10月～12月の実績



3 実証運行により得られた成果

誰もが安全・安心・快適に移動できるコミュニティ交通を導入し、持続可能な地域公共交通を実現することで、外出機会の増加や地域住民の生活の質の向上、地域の持続的な発展など、広範囲に渡って、社会的効用が確認されており、デマンド型交通は単なる移動手段を超えた地域の価値創造の基盤となっている。

4 本格運行での実施内容

(1) 実施時期

令和8年4月1日～

※実証運行で得られた成果を踏まえ、当初の実証運行期間（令和5年5月～令和8年4月）の終了を1ヶ月早め、本格運行を開始する。

(2) 運行形態

令和7年10月から開始した週5日運行の利用状況を踏まえ、原則、実証運行において採用した運行形態を継続するとともに、本格運行においても週5日運行で実施する。

本格運行に移行するにあたり、利便性の向上に加えて、地域経済の活性化や、デジタル地域通貨としての利用シーン拡大の観点から、「せたがやPay」を利用した運賃の支払い方法を導入する。また、収入増に向けた取組みとして、「ふるさと納税制度」を活用し、幅広く寄附募集に取り組み、収支率の改善を図っていく。

【運行形態】

①運行区域 砧1～8丁目、大蔵1～3丁目（別紙1「運行マップ」参照）

②運行日 週5日（月曜日～金曜日）

※運休日：土・日曜日、年末年始（12月29日～1月3日）

③運行時間 午前8時30分～午後7時

④運行様様 A Iとワゴン車両を活用したデマンド型交通

⑤委託事業者 東急バス株式会社

⑥運賃 大人（中学生以上） 300円

小児 150円

70歳以上 100円（乗車割引証の提示が必要）

未就学児 無料

※障害者割引あり

⑦支払方法 現金、交通系ICカード、せたがやPay

⑧乗客定員 8名

⑨乗降地点 46か所

⑩予約方法 電話または専用予約サイト（乗車希望日時の1週間前から利用日の30分前まで受付可能）

⑪運営協賛 個人：1口1,000円、法人：1口5,000円

⑫広告 車両内部：1枠16,500円～、車体：1枠44,000円～、
コミュニケーション交通ニュース：1枠55,000円

⑬ふるさと納税制度を活用した寄附募集

ア) 寄附目標金額 1,000,000円

イ) その他

クラウドファンディングの手法を活用した寄附募集について、期間を指定するなど、今後、実施を検討する。

(3) 令和8年度における利用者数及び収支状況（見込み）

項目	人数・経費
①年間利用者数	9,252人
②支出 ※1	24,075,000円
③運賃収入	1,673,000円
④運賃外収入（運営協賛）	340,000円
⑤運賃外収入（広告）	660,000円
⑥運賃外収入（ふるさと納税）	1,000,000円
⑦収入合計（③+④+⑤+⑥）	3,673,000円
収支率（⑦/②）	15.3%（19.8% ※3）
公費負担額（②-⑦）※2	20,402,000円

※1 人件費、システム利用料、コールセンター経費（宇奈根・喜多見地区のデマンド型交通のコールセンター業務を共有することで経費削減を図っている）、燃料費、消耗品費

※2 現状のサービス水準での運行に必要な実質補填額

※3 福祉的支援により、割引証を提示した70歳以上の運賃を100円と設定しているが、割引を適用しない場合の収支率

(4) 本格運行の目標（案）及び継続可否

①目標（案）

実証運行における評価項目・利用状況・アンケート調査の結果から、「利用実績」「採算性」「福祉・健康面」「地域経済の活性化」などを踏まえて策定した「令和8～9年度における目標（案）」を基に、世田谷区地域公共交通活性化協議会での議論を経て、目標を設定する。地元協議会と共に、利用者アンケート調査を実施した上で、利用状況を分析・評価し、持続可能な公共交通を目指す。

【令和8～9年度における目標（案）】

項目	目標	項目	目標
WEB登録者数	1,700人	娯楽や余暇活動への機会が増加した利用者の割合	70.0%
1日あたりの利用者数	50人	歩く機会が増加した利用者の割合	50.0%
収支率	15.0%	デマンド型交通を利用することで増加した歩く時間	30分
運賃外収入（地域からの支援）	2,000,000円	医療費抑制効果（見込み）※	（年間／最大値） 約127万円 ～約140万円
運行サービスに満足している利用者の割合	80.0%	日常生活の満足度や生活の質が向上した利用者の割合	80.0%
今後の利用意向	(利用したことがある方) 95% (利用したことがない方) 90%	買い物に行く機会が増加した利用者の割合	70.0%
通院負担が軽減した利用者の割合	80.0%	家族などの送迎負担が軽減した利用者の割合	80.0%

※ 国土交通省が策定した「まちづくりにおける健康増進効果を把握するための歩行量（歩数）調査のガイドライン（平成29年3月）」に基づき、医療費抑制効果（見込み）を試算する。

【算出方法】

$$\textcircled{1} 30\text{分} \times \textcircled{2} 100\text{歩} \times \textcircled{3} 25\text{人} \times \textcircled{4} 52\text{日} \times \textcircled{5} 5\text{日} \times \textcircled{6} 0.065 \sim 0.072\text{円}$$

$$= \textcircled{7} \text{約} 127\text{万} \sim \text{約} 140\text{万円} \text{（年間／最大値）}$$

- ①デマンド型交通を利用することで増加した歩く時間（1日あたり）=30分
- ②1分あたりの平均歩数=100歩
- ③歩く機会が増えた利用者数（1日あたり）=25人【「歩く機会が増えた」と回答する方の割合（約50%）に1日あたりの利用者数の目標値（50人）を乗じて算出】
- ④利用頻度=52日/年【週1日程度の利用を想定/一人あたりの年間利用日数】
- ⑤運行日数=5日/週
- ⑥1歩あたりの医療費抑制効果の原単位（40～74歳の国民健康保険加入者一人あたりの年間医療費の変化（増加）などを踏まえて整理されたもの）=0.065～0.072円
- ⑦医療費抑制効果（見込み）

②本格運行の継続可否

実証運行の結果を踏まえ、1日あたりの平均利用者数が現在の利用状況の半分である20人未満の状況が継続し、地元協議会や運行事業者等と協働した上で、利用者ニーズに応じた運行改善策や、利用促進策に取り組んだにもかかわらず、改善の見通しが立たない場合は、地元協議会等と共に、本格運行の終了を協議する。

5 砧モデル地区（砧・成城地域）以外の重点検討地域の取組み状況について

（1）該当地域（9地域）

「経堂・桜」「三宿」「桜上水・赤堤」「東玉川・奥沢」「岡本・瀬田」「喜多見・成城」「喜多見」「上祖師谷・給田」「北烏山」

（2）これまでの経緯

令和7年6月 「世田谷区コミュニティ交通導入ガイドライン」策定

7月～ 重点検討地域内の町会・自治会への説明（町長会議等での説明）
町会回覧などでの周知

個別相談会の実施

（3）地域協議会の設立状況【令和7年12月現在】（別紙2「地域協議会の設立状況」参照）

①設立地域（4地域）

新たなコミュニティ交通の導入に向けて検討中

- ・「三宿」
- ・「桜上水・赤堤」
- ・「東玉川・奥沢」
- ・「喜多見」

②設立に向けて検討している地域（3地域）

- ・「経堂・桜」
- ・「岡本・瀬田」
- ・「上祖師谷・給田」

③当面見合わせる地域（2地域）

- ・「喜多見・成城」

理由：現状、新たなコミュニティ交通を導入する必要性を感じていないとの意見が大勢を占めたため。

- ・「北烏山」

理由：烏山北住宅の建て替えに伴い道路整備が予定されている状況を踏まえ、整備完了後に検討することが望ましいという多くの意見が集まったため。

（4）今後の進め方

「世田谷区コミュニティ交通導入ガイドライン」に基づき、地域特性の確認、地域が抱える移動に関する課題の整理、移動ニーズ等の調査を実施し、重点検討地域ごとに地域のニーズに応じた公共交通不便地域対策を着実に進めていく。

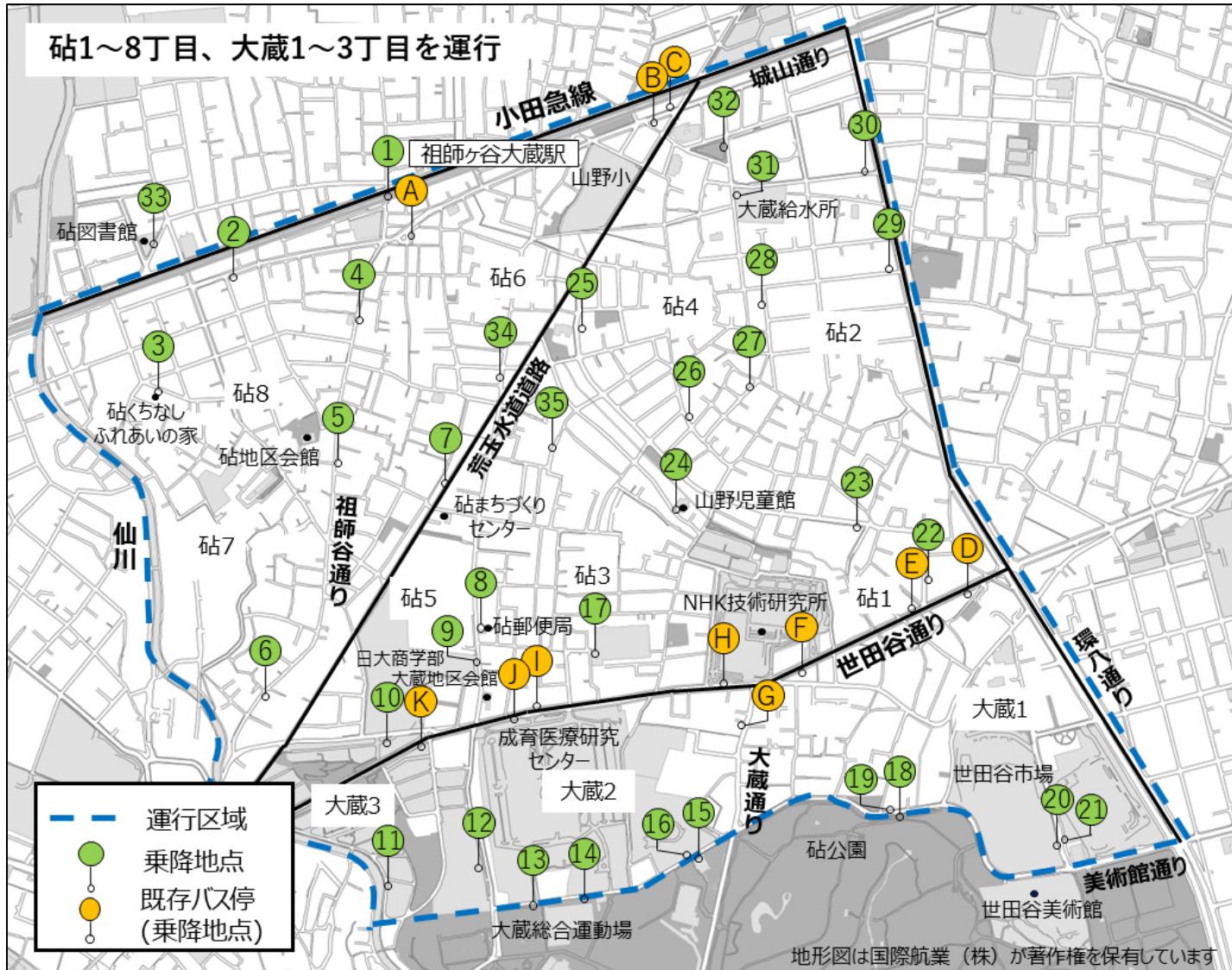
住み慣れた地域で自立した生活を継続できるように、新たなコミュニティ交通を導入することで、福祉の増進、地域の活性化及びコミュニティづくりを促進し、外出しやすく、住みやすい街づくりに寄与していく。

6 今後のスケジュール（予定）

令和8年 2月以降 重点検討地域（砧モデル地区を除く）における新たなコミュニティ交通の導入に向けた検討の継続

4月1日～ 砧モデル地区デマンド型交通の本格運行開始

運行マップ



乗降地点	
1	祖師ヶ谷大蔵駅
2	パン屋前
3	砧くちなしふれあいの家
4	アトリエそら豆
5	川上歯科クリニック
6	砧7丁目4番（マンション前）
7	ローソン砧5丁目店（砧まちセン最寄り）
8	砧郵便局
9	日大商学部東門前
10	大蔵住宅（30号棟）
11	カーメスト大蔵の杜（8・9号棟）
12	カーメスト大蔵の杜（5・6・7号棟）
13	大蔵運動場（テニスコート前）
14	大蔵運動場（屋内プール前）
15	大蔵運動場（屋外プール前）
16	サレジアン国際学園世田谷
17	友愛十字会
18	稻荷橋（二子玉川駅行き）
19	稻荷橋（美術館行き）
20	世田谷市場
21	美術館（二子玉川駅行き）
22	ビーチテボ前
23	砧1丁目21番（マンション前）
24	山野児童館
25	セブンイレブン砧4丁目店
26	とみやまクリニック
27	砧4丁目18番先
28	砧4丁目24番先
29	東京メモリードホール
30	サミット砧八通り店前
31	大蔵給水所
32	富士見公園
33	砧図書館
34	メイカルコミュニティ砧
35	砧3丁目34番（マンション前）
A	祖師ヶ谷大蔵駅（用賀駅行き）
B	山野小学校（祖師ヶ谷大蔵駅行き）
C	山野小学校（渋谷駅行き）
D	三本杉（成城学園前駅行き）
E	砧町（渋谷駅行き）
F	NHK技術研究所（成城学園前駅行き）
G	NHK技術研究所（成城学園前駅行き）
H	NHK技術研究所（二子玉川駅行き）
I	成育医療研究センター前（渋谷駅行き）
J	成育医療研究センター前（成城学園前駅行き）
K	日大商学部前（成城学園前駅行き）

別紙2

地域協議会の設立状況

